

2. 親切会の事業

親切傘

外出先などで突然の雨に降られ、困って空を見上げたことが誰にでもあると思います。そんな時、困っている方に利用してもらおうと、昭和37年(1962年)6月、市内4箇所の駅(JR八王子駅、JR西八王子駅、JR高尾駅、京王八王子駅)に400本の黄色い親切傘を設置しました。現在、置き場所は市役所や図書館などに変わりましたが、約70箇所の公共施設に親切傘を設置しています。



設置当時の親切傘

設置開始以来、傘の少ない場所への補充や傷みがひどいものの交換などを行いながら、60年間で2万本以上の親切傘を作り、皆さんにご利用いただきました。現在は、市民の皆さんから寄付された傘や忘れ物等を再利用した「リサイクル親切傘」も活躍しています。親切傘と同様に、お気軽にご利用ください。



親切傘にはこんなエピソードも……

昭和39年(1964年)、東京オリンピックが開催され、八王子市でも自転車競技が行われることとなり、選手村の分村が設置されました。入村した選手たちが、秋の長雨に困っていると聞き、早速親切傘を置いたところ、大変喜ばれました。親切傘が国際親善の重責を立派に果たしてくれました。

親切傘 設置場所

- | | |
|------------|--------------------|
| ○市役所本庁舎 | ○地域子ども家庭支援センターみなみ野 |
| ○各事務所 | ○各児童館 |
| ○各市民センター | ○心身障害者福祉センター |
| ○長房ふれあい館 | ○恩方老人憩の家 |
| ○クリエイトホール | ○中央図書館 |
| ○いちようホール | ○南大沢図書館 |
| ○南大沢文化会館 | ○夕やけ小やけふれあいの里 |
| ○学園都市センター | ○富士森体育館 |
| ○夢美術館 | ○エスフォルタアリーナ八王子 |
| ○川口やまゆり館 | ○甲の原体育館 |
| ○保健所 | ○教育センター |
| ○各保健福祉センター | ○生涯学習センター南大沢分館 |
| ○あったかホール | |



現在の親切傘

親切募金

親切募金の理解と協力を呼びかけるために設置した親切募金箱は、市民の方々と親切会を結ぶ窓口として、大切な役目を果たしています。この募金箱は、「親切募金箱」と書かれたもので、駅や公共施設など、25箇所に設置し、皆さんからの募金をお願いしています。

設置以来、定期的に募金して下さる方や、寄附も寄せられるなど、多くの方の真心の結晶が積み重ねられています。寄せられたご厚意は、親切運動の貴重な運営資源となっており、「親切で明るいまち八王子」に向けた大きな力となっています。

募金箱 設置場所

- 市役所本庁舎
- 八王子駅南口総合事務所
- 各市民センター(みなみ野分館を除く)
- 夕やけ小やけふれあいの里
- 道の駅八王子滝山
- JR高尾駅北口
- JR西八王子駅北口
- 高尾山ケーブルカー清滝駅
- 高尾山薬王院



(上)設置当時の募金箱
(左)現在の募金箱

親切表彰

世の中には、親切な行いをしている人がたくさんいらっしゃいます。しかし、親切というものは、社会生活の中では、ごくわずかな例外を除いて、表面にはなかなか出にくいものです。そこで、社会の中で埋もれている、心温まる親切に感謝しようと、「広報はちおうじ」で市民の皆さんから広く推薦をお願いし、親切な方の表彰を行っています。

昭和37年(1962年)5月に第1回の表彰を行ったときには、30名の方が環境美化や社会福祉などの分野で受賞しました。その後は年々増加し、令和3年度(2021年度)で個人が延べ4,377名、団体が延べ507団体にも及んでいます。これからも、まちのあちこちで見受けられた小さな親切行為に対し、表彰をしていきます。

親切行為種別の分類基準

- 公共生活への貢献
公共物の愛護、公衆道徳の普及・実践、公共の利益となる工夫・研究、その他公共社会・公共団体・地域・学校・職場などのためにつくした行為
- 事故防止
交通整理・水難防止・その他事故防止につくした行為
- 環境美化
清掃美化、その他環境美化・環境衛生につくした行為
- 青少年指導
子供会の指導、青少年の教育・補導・非行少年の善導など
- 社会福祉
社会福祉施設又は不遇の人たちへの慰問激励各種奉仕・金品の寄附、その他社会福祉につくした行為
- 隣人への徳行
隣人・友人など特定の人に対する援助・徳行など
- 個人生活の徳行
家族又は親族間における徳行、個人的勤検力行などで特に顕著なもの
- 防犯
犯人逮捕への協力などで特に顕著なもの、その他防犯につくした行為
- 防火
火災の発見、通報、消火で特に顕著なもの、その他防火につくした行為
- 人命救助
人命の救助、救急看護などで特に顕著なもの
- その他
以上にあてはまらない親切な行為



啓発活動

一親切運動推進月間（昭和36年～昭和49年）

親切な心は、時や場所を選ばず、常に心掛けなければならない大切なものですが、時として、慌ただしさに取り紛れてしまい、失いがちになってしまうものです。そんな親切心の高揚を呼びかけるため、年末の慌ただしい時期を「親切運動推進月間」として設定し、親切心の啓蒙を行いました。

期間中は親切会役員を先頭に、ミス八王子(当時、八王子まつりで行われていたミス八王子コンテストの優勝者)を伴って、市内の官公署や事業所、病院など様々な職場を訪問しながら、

標語入りのポスターや親切リボンを配付し、いたわり合いの心の呼びかけを行いました。また、警察署や地域の女性団体などの協力を得て、市の広報車により街頭宣伝を行うほか、道行く人々に風船等を配り、親切心を啓発しました。さらに、各所に親切標語入りの立て看板の設置、市役所本庁舎前に懸垂幕の掲出、商業施設の電光掲示板の利用、各地域の美化活動への協賛など、あらゆる手段を活用して、親切運動の普及や紹介に努めていました。

この親切運動推進月間の活動は、毎年恒例行事として、年の瀬の話題になるほど市民の皆さんに浸透していきましたが、昭和49年(1974年)をもって中止となりました。



一街頭啓発（昭和62年～）

毎年11月に甲州街道で開催される「八王子いちよう祭り」においてブースを出店し、親切運動の普及を行っています。地域の高校生ボランティアにも協力いただきながら、来場した皆さんに親切会のパンフレットや親切会マークの入ったマグネットやティッシュペーパー、バルーンアート等を配布するとともに、街頭募金活動を実施しています。

